

言葉の持つ力

相洋中学校 三年 安藤 夕姫

みなさんは、「言葉の力」と聞いてどのようなことを想像しますか。

私は、二つのことが思い浮かびました。一つ目は「言葉は人を幸せな気持ちにすることが出来る一方でその逆もある」ということです。そして二つ目は「言葉によって、気持ちや考え方が変わりもつと前向きになれる」ということです。私たちは普段、何気なく会話をしていますが、言葉の使い方には十分気をつけなければなりません。同じ言葉でも、励ますことも傷つけることもでき、言葉はときには強い武器にもなりえるからです。

まず、一つ目に挙げた「言葉は人を幸せな気持ちにすることが出来る一方でその逆もある」についてです。実際、私からかけてもらった言葉で温かい気持ちになることもあれば、逆に「あんな言い方をしてしまい、相手を不快にさせてしまったのではないか」と自分で不安に感じることもあります。たとえ悪気はなくても相手に対して失礼な言葉を使えば、相手を傷つけてしまいます。言葉を少しでも間違えるだけで、様々なことが悪い方向へと向かってしまう可能性があることを念頭に置かねばなりません。言葉というのは、全て自分に返ってくると言われています。他者に対して使った言葉が自分に向くことになるのは、人の脳の働きが深く関係しているそうです。言葉を発すると、その言葉は耳で拾われ脳に届きます。理性では、誰に向けた言葉か分かったつもりになりますが、脳の深いところではそれが分かっています。そのため、自分が他者に対して発した言葉も、自分事として受け取ってしまうと言われています。つまり、自分が人から言われた時と同じような状態になってしまうのです。口には出さず、心の中で思うことも結局は、脳認識されるようになるため、口に出すことと変わりません。だからこそ、自分で自分を傷つけないためにも自分が使う言葉や思いには気をつける必要があります。

二つ目の「言葉によって、気持ちや考え方が変わりもつと前向きになれる」についてですが、私があるように感じた経験がありました。あるとき、私は物事を必要以上に考えてしまい、不安な気持ちが続いていました。そのことを母に相談すると嫌なことを考えないようなする方法を教えてくださいました。それは「楽しいことを考えるようにする」ということです。最初は難しくなかなかできませんでしたが、少しずつ物事を前向きに考えることができるようになりました。不安なことはなかなか尽きませんが、だんだん「大丈夫」と考えて不安を乗り越えることが増えていきました。

私は、母の一言で考え方が前向きに変わりました。マイナスな言葉ばかり耳にするのとプラスな言葉を耳にするのでは、気持ちが変わってくることを実感しました。私個人からもらった言葉で前向きに物事を考えられて救われたように私は、言葉の持つ力を理解して誰かに良い影響を与えられる人になりたいです。